

初めて来た！日本！

2015.09.03

初めて日本へ来たので、いろいろな不慣れなことがあります。いいとか悪いとか言わずに、できるだけ早く習慣するのが一番大切だと思います。

これは日本語で投稿されたものです

超～可愛い秋田犬

2015.09.07

私はホストファミリーではないけど、下宿も不思議なところですよ。半分はホストファミリーみたいなものですね。私にもホストファミリーのお母さんとお父さんがいるといえます^^ おまけに秋田犬も一匹。

秋田犬って不思議な生物ですね。その超～可愛さは、ネット上にメチャ面白画像があるか、その数からもうわかります。けどこれは表情にすぎない、まだまだこの不思議な生物の内心を表していません!!!

私は中学校の時、とても鼻が利くやつが居て、そいつは：“君はミルクの匂いがしてるよ。”と言ったが、スルーした。

大きなことを言いやがって、ありえないじゃん！_ _ _

けど、秋田犬という不思議な生物は教えてくれた：本当だよ。

私は玄関から入ったらすぐ、こいつは興奮した様子を見せ、尻尾を左右に振りながら走って近づいてきて、そして舌を出して、ずっと私にくっついて、絶えずに鼻を私に近づけ、嗅ぎまくる。結局、ホストファミリーのお父さんに引っ張られても去って行かず、前足で地面を掴んで必死に抵抗しました。

私はそこまで美味しそうですか？それだけで自分の主人を捨てるんですか？

けど、そうは言っても、可愛い犬だとも言えますね。これからは仲良くなれたらいいなあ。これ以上私のことを食べ物だと勘違いしないでね^^^

岩手県

2015.09.19

岩手県はたくさんの伝説のあるところですよ。先生のご紹介によりますと、岩手という名前の由来は、岩（鬼の）手だったようです。

昔は、羅刹鬼という鬼が盛岡に住む人々に悪事を働き、地元の人たちが三ツ石神社の神様である「三ツ石様」をお願いして、羅刹鬼を三ツ石神社の三つの大石に縛り付けていただきました。羅刹鬼は降参して、また盛岡に二度と戻って悪事をしないと誓い、石に手形を残しました。その後は、この地区は岩に手形があることから、岩手と呼ばれるようになりました。

そして、鬼退治をお祝いするため、住民たちは三つの大石を囲んでさんさんさと歌い、さんさんさと踊っていました。それは今盛岡の有名なさんさん踊りの由来です。。

孫 榕さんの日記

自転車を買ったよ (～▽～)→)))*▽~*)o

2015.10.10

今日先生は私を自転車を買いに連れて行ってくれました。

自転車は少し高いので、ほんの少し気が咎めました、でも！！とても速く、丈夫できれいな自転車でした！！

この自転車を買ってから、私は更に遠い場所に乗っていき、遊びに行くことができるようになりました。どこに行くのかという話となると。。。盛岡では、やはり山を見に行くということになりますね。

街には視界を遮る高い建物がないので、ぐるりと眺めると、すべて山～山～山～山～まるで山間にある村に住んでいるかのようです。天を突くばかりに高くそびえる岩手山、綿々と連なる北上山脈、高くそびえる奥羽山脈。夕日で際立つ岩手山はまるで1枚精巧につくり上げられた切り絵のようです。



最初の頃、私は一度、岩手県の名前の由来は山が多いことにあると思っていました。由来はそうではなかったのですが、でも、確かに山は多いです。その中の盛岡は北上山脈と奥羽山脈の間にあり、西北を眺めると、勢いのある姿を天にむけてそびえ立つ岩手山が見えます。道理で校歌の歌いだしは：天高く～岩手山～

山は多いけど、山中に住んでいる人は多くないです。岩手県の全人口は基本的に中央に集中していて、西側の北上盆地に少しだけなので、面積は大きいけど、県の総人口は多くないです。かつ岩手県の多くの産業はすべて山に頼ったものです。私はここの言葉と人々の性格はきつとこの影響を受けているのだと思います。要するに岩手県について話そうとすると山は切り離せないのです。。。

山以外に行きたいのは盛岡駅です！盛岡駅の前には有名な商店街“大通り”があります。これは昭和5年に新盛岡市と合併された古い街で、発展する中でゆっくりと一筋の有名な商店街になりました。



(昭和32年頃の大通り)

長蛇の列に並ばされて、長い待ち時間を経ても食べたいラーメン屋、毎年祭りの時にjojoの装いをしたわら人形を飾る桜山神社。。。最も大事なのが人がいるということです！！盛岡でこのような寂しい場所は数少ない（多分唯一の）人が多い場所と言っていいでしょう。歓楽と喜びに満ちた場所です！街で歩いていると、面白い店をみつけられそう、他のところにはない独特な趣を持っている場所です。これは私に生命力を感じさせる街で、私はこの街が大好きです。。。

最後に私はまだ自転車の画像を撮っていないので、次回（たぶん）補充します。日記をあまり書いていなくてごめんなさい。実はずっとネットはあったのだけど。。。怠惰なだけで。。。富樫義博が期日通りに原稿を提出するようになったら、私も日記を書くようになるでしょう（にやり）

それでは、未来への期待でこの日記を終えましょう。バイバイ。

まだこんなに寒くなかった時の思い出

2015.11.22

9月、まだ今みたいにこんなに寒くない時に、お祭りに行きました。もっと前にアップするつもりでしたが、残念ながらずっと引き伸ばして書いていませんでした。結果、もうすぐ雪が降ろうという時になってやっとこの事を思い出しました。時間的にすでに日記とは言えないものになってしまったので、これを暖かった九月の思い出とみなすことにしましょう。

盛岡では毎年9月の14～16日に“秋の祭典”があります。由来はあまりわからないのですが、紹介をみると、かなり長い歴史のあるもので、この祭典の最も面白いところは“山車”のパレードです。



山車には二つの面があり、それぞれ異なる人物を配して、画像の中のこの人物は鍾馗です。

現在の山車は約3メートルの高さがあります。実は明治前には5メートルあったのですが、その後、電線にぶつからないように低くしました。

【以前の山車】



【現在の山車】



祭典は山車以外に、人々を楽しみにさせるのは食べ物です。



盛岡八幡宮に来ました。

いろんな屋台。





焼きそば、たこ焼き、チョコバナナ、いろんなものを食べきれないくらい食べて、さらにたくさん買って帰りました。。さすがに次回は年越しの時まで待たないといけないのでまだ食べられる時にいっぱい食べないと。

神社の中で伝統的な日本舞踊が披露されてました。



神社を出ると、神社の前の道で大きな狸を見ました。



紹介文はもうはっきりとは見えなくなりました。相当古い年代のものみたいです。



最後は夕日の下の岩手山の画像で終わらしましょう。



2015.11.22